

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 3月 13日

事業所名 放課後等デイサービス事業所ぱびっと 保護者等数(児童数) 17 回収数 12 割合 70 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1	2	出来れば、児童デイのみの施設が同じ敷地内等、土の広場と遊具もあると良い。	時間帯に合わせてスペースの有効活用をしていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	5	1		職員の配置基準は満たしております。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	2			
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	1			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5	2	南小の学童と一緒にNバスをつかって公園や海に行くなどがあると良い。	今後、地域との交流を検討していきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	2	1		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	5	4	参加したことがない。デイの入園式をレストランなどでやってほしい。親子遠足などもやってほしい。	保護者会等の実施や行事について検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	6		その状況にあった事が無いのでわからない	今後も、保護者の相談についてしっかり対応できるようにします。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2			
	14	個人情報に十分注意しているか	11	1			
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	4			
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	2			
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	12			とても楽しみにしている	今後も、楽しく通所できるように支援していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	11	1			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 13日

事業所名 放課後等デイサービス事業所ぱぴっと

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	2	1		個別対応で個室の 活用を工夫してい る。	少人数単位で個別支援が出来るように改善
	2	職員の配置数は適切である	1	2			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	1	2			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	2		1		業務改善のPDCAサイクルは、振り返りを 意識してチームワークで改善できるようにし ていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	2	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している		2	1		ホームページで公開中です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	1	1	1		入所から第三者評価は行っています。今 後、当事業所も実施予定です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	3				
適切な支 援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	3				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	1	1	1		現在のアセスメント用紙の改善を検討してい きます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	2	1			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	2	1			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	3				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	3				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	2		1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	2	1			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	1			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	3				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている		3			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1		1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			3		今後、地域との交流を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		1	2		療育部会は、今後活動に向けて実施予定です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3				
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	1	1		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2		1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	2		保護者会等の実施や行事について検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	1			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3				
	35	個人情報に十分注意している	2	1			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年3月16日

事業所名 児童デイサービスのびと

保護者等数(児童数) 28名 回収数11 割合 39%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	2			
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10	1			
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10	1			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	5	1	普通学級のためその必要性をあまり求めない	今後、ニーズに応じた色々な交流等も検討していきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	5	1	参加が難しい、父母会など気軽におしゃべりができる場があったらいいな	今後、保護者の皆様のご都合に合わせた開催を検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2	1	ときどき忘れ物をするので、そこを注意して見てもらいたい 保護者だけでなく、学校の先生へのしっかりとした話し合い対応について今後期待したい。	忘れ物の確認の徹底を職員間で行っていきます。 保護者だけでなく各学校の担任との連携も密にしていきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	3			
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	10	1			
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	4			
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	7		実施の有無がわからない	実施する際にはしっかりと保護者へも周知していきます。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	9	2		とても楽しく通所しています。	今後も楽しく通所できるよう支援していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	9	2		やさしく見守っていただき感謝です。今後に期待します。	今後もニーズに沿った支援ができるよう配慮していきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年3月16日

事業所名 児童デイサービスのびと

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内 容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	3	1			
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされているか	2	1	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いるか	2	2		今取り組んでいる。	全体的な取り組み周知徹底に 努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげているか	4				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか	3	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	3	1			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	4				
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している か	4				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標 準化されたアセスメントツールを使用してい るか	3	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい るか	3	1			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	3	1			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	2	2			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成しているか	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認しているか	4				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有しているか	3	1		必ずではないが取り組んでいる。	定期的な実施を心がけ、改善に つなげていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	少ないが機会はある。	今後も定期的の実施・交流していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2		

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4				
	35	個人情報に十分注意しているか	4				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	2			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和2年3月16日

事業所名 児童デイサービスのびと2

保護者等数(児童数)13名 回収数10 割合 77%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10			適切な人数がわかりません。	保護者の方にもしっかりと職員数について周知していきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	1			
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9	1			
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	1			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	5	1	機会があっても利用していないかもしれません。トラブルが心配なのでとくに希望はしていない。	児童館での活動はありますが、周知されていないのでしっかりと周知していきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	6			
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2	1	保護者だけでなく学校の先生へのしっかりと話し合いについて今後期待したい。	今後、学校や関係機関との連携もしっかりとこなしていきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2			
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	9	1			
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	2			
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	3			
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10				
	18	事業所の支援に満足しているか	9	1		利用2カ月余り、今後に期待します。	今後もご期待ニーズに応えられるような支援を心がけていきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年3月16日

事業所名 児童デイサービスのびと2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2			
	2	職員の配置数は適切であるか	1	3		あと1人増やしてほしい。	適性な配置基準に沿って配置していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4				
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	3			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			これから見直しをしていく予定。	定期的・必要に応じてのモニタリング・個別面談の実施を行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	3	1			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1		医療的ケアが必要な児童は、現在いないが何かあった時には看護師に連絡している。	今後も看護師との連携も強化していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	2			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	2		相談されたときは上司に報告している。	今後も、相談師や必要な環境作りを行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	1		

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1			
	35	個人情報に十分注意しているか	4				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	1		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	3			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1			

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業者名 児童デイサービスのびと3

保護者等数(児童数)15名 回収数9 (兄弟含む)割合 60%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9				屋内または、屋根付きの屋外、もしくは 園庭があると、広々とした場所で活動す ると望ましい。	限られたスペースの有効活用や戸外での施 設なども検討していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	8			1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化さ れた環境になっているか。また、障害の特 性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされて いるか	6			3	「構造化された環境」として設けられてい るかどうかを考えて、そこを見ていたわ けでないで、その点は不明。	今後も、構造化やスペース確保をしっかりと 行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	8			1		
適切 な支 援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画iiが作 成されているか	9					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」の「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容 が設定されているか	6			3	適性な支援が行われていると感じるが、 その根拠との関係についてはわからない。	今後も、サービス等利用計画や保護者の意 見、児童のニーズに沿った個別支援を心がけ ていきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	8			1	都度説明が行われている。	今後も、サービス等利用計画や保護者の意 見、児童のニーズに沿った個別支援を心がけ ていきます。
	8	活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫さ れているか	7			2	プログラムはあるものの、柔軟に対応し ていると理解している。	利用者の状態やニーズによって臨機応変にプ ログラムを行なうようにしています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障害のない子どもと活動する機会があ るか	1			8		
適切 な支 援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	8			1		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」のねらい及び支援内 容と、これに基づき作成された「児童発達支 援計画」を示しながら、支援内容の説明がな されたか	7			2	設問6と同じ。 説明は適切に行なわれていると感じる がその根拠が何かはわからない。	今後も、サービス等利用計画や保護者の意 見、児童のニーズに沿った個別支援を心がけ ていきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニングiv等)が行われているか	5		1	3	おたより帳や送迎時の会話で気づか れることもあり、家庭で活かされる。	個別面談やモニタリングなど、必要に応じての 面談を実施しながら家族支援につなげていき ます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができているか	8		1			
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	8	1				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	3		3	3	必要性は不明。施設と父母、その子の 関係が大事でないか。	今後、開催する際にはご都合に合わせた期日 で検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制が整備されているとともに、 子どもや保護者に周知・説明され、相談や 申入れをした際に迅速かつ適切に対応され ているか	8			1	おかげでとても助かっている。今後もス ピーディーな対応を願っている。	個別面談やモニタリングなど、必要に応じての 面談を実施しながら家族支援につなげていき ます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか	8			1	コミュニケーションは十分とれていると感 じている。	個別面談やモニタリングなど、必要に応じての 面談を実施しながら家族支援につなげていき ます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概 要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信されているか	7	1		1	「会報」にあたると思うが、小さな写真で も、その時の様子や表情を確認できるの はありがたい。	今後も、定期的な広報誌を発行していきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8			1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4		1	4	マニュアルの存在、訓練の有無について分からない。とは言え、緊急時の連絡と説明は行っていると理解している。	今後も徹底した対応と保護者への周知・発信も行っていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			7	同上。	今後も徹底した対応と保護者への周知・発信も行っていきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	7	2			波がある。基本的には楽しみにしている。	今後も楽しく通所できるよう支援していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	8	1			いつもありがとうございます。とても助かっています。	今後も、成長や保護者の安心につなげられるような支援を心がけていきます。

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理手帳を基に作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者等の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

事業所職員向

児童発達支援自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月16日

事業所名 児童デイサービス のびと3

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3			
	2	職員の配置数は適切であるか	3		多く配置されている。	今後も適性人数の配置をしていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	3			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	1	全員はできていない。	相談新事業所とも協力しながら相互理解の場作りをしていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	1		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3			
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3		ペアトレと言えるかは不明だが助言は行っている。	適切な助言や専門性の高い相談を受けられるようなスキルアップも内外部の研修を取り入れながら図っていきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	1		

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年3月16日

事業所名 児童デイサービスのびっと4(男塾)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	2	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	2	2			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	1	2		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	3			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	3			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	3			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	3			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	3			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	1		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	2		

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1			
	35	個人情報に十分注意しているか	2	1			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		2	2	早急に訓練等を実施し、定期的に行えるように計画を立てたい。	今後、計画・実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1		定期的に研修会や勉強会を行っている。	今後も継続して実施していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	3		身体拘束を行う必要や可能性のある児童はいないが、保護者と児童に事前確認は必要と思う。	予想される行動等があれば、事前にしっかりと説明を行っていききたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	1	アレルギーをもつ児童は利用していないので、行っていない。	今後も、情報収集・把握・対応を行っていききたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	1	1	今後作成が必要である。	これまでの事例をしっかりとまとめていきます。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年3月16日

事業所名 児童デイサービスのびと4(男塾)

保護者等数(児童数) 21名 回収数7 割合 33%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	2			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6		1	児童より時々少ないと感じる。親としては特に感じていません。	配置数には問題ありませんが、専門性はしっかりと高めていきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1			
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	7				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	6	1		児童と一緒に考えていると思います。	自己意思決定を取り入れて児童が楽しんで成長できるプログラムを取り入れていきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6		1		
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6		1		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	1			
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	3	私があまり参加できていないため。	今後、参加しやすいような時間帯の開催も検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	3		苦情の有無や対応については聞いたことがないため。	個別での面談やモニタリングなどを活用しながら、日頃から相談しやすい環境作りに配慮していきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1	1		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2			
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	6	1			
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	1	1		
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	2	児童より、避難訓練をしたことが無いということです。	しっかりと定期的の実施できるよう計画していきます。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	6	1		日曜日以外はとても行きたがります。	日曜日はイベント以外は利用はありませんので配慮していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	6	1		とても満足しています。	今後も楽しく通所できるよう支援していきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業者名 児童デイサービスのびっとANO-ANO

保護者等数(児童数)16名 回収数8 (兄弟含む)割合 50%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8				2階のスペースも使用できるので、体を使った遊びもできる。	今後も十分なスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	7			1	資格を持っている人がほとんどと聞いていますので専門性については十分だと思う。	今後も専門性を高めつつ職員配置もしっかりと安定していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8				本棚やトイレスペース、お昼寝スペースが簡単ではあるが分けられており、分かりやすいのではないと思う。	今後も、構造化やスペース確保をしっかりと行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8					
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	8					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			1	利用したばかりなので、まずは楽しく通えるように計画作って下さっている。	今後も、サービス等利用計画や保護者の意見、児童のニーズに沿った個別支援を心がけていきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8				子どもと沢山遊んでくださり、多くの人と関わる機会を作っていると思う。	今後も、サービス等利用計画や保護者の意見、児童のニーズに沿った個別支援を心がけていきます。
	8	活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	6			2	活動の曜日を変えたりして通っている子たちが様々な遊びを経験できるようにしている。	利用者の状態やニーズによって臨機応変にプログラムを行なうようにしています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5			3		
適切な 支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8				契約時に説明を受けた。	今後も、利用契約や個別面談時に説明していきます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8					
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか	6			2	まだ、利用回数が少ないので、こういったプログラムがあるのか分からない。	個別面談やモニタリングなど、必要に応じての面談を実施しながら家族支援につなげていきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	8				連絡帳があるので、それを利用して気になることをやり取りしている。	今後もしっかりと継続していきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8				アドバイス等をもらえています。	個別面談やモニタリングなど、必要に応じての面談を実施しながら家族支援につなげていきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				8	今のところ、保護者会等については話を聞いたことがない。	今後、開催する際にはご都合に合わせた期日で検討していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	1				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	1			細かな情報を与えられています。	個別面談やモニタリングなど、必要に応じての面談を実施しながら家族支援につなげていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6			2	毎月、行事予定(活動予定)表や活動の様子を写したプリントが配布されている。	今後も、定期的な広報誌を発行していきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5			3	感染症が流行し始めている時なので対応がしっかりしている。	今後も徹底した対応と保護者への周知・発信も行っていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			6		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1			家では行き渋りすることもあるが、着いたら切り替えて遊ぶことができていると聞いています。毎回、楽しそうに通っているし、帰ってきたときも「楽しかった」と言っている。	今後も楽しく通所できるよう支援していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	8				日々成長が見られ満足です。	今後も、成長や保護者の安心につなげられるような支援を心がけていきます。

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理手帳に記載します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目指す。

(保護者等の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

事業所職員向

児童発達支援自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月16日

事業所名 児童デイサービス のびっとANO-ANO

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	3			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	1		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	1		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	3			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		職員の人数や天候、利用者の動きをみて判断している	朝の申し送りや帰りの振り返りを定期的に行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	1		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	1		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	1		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	1		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3			

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。